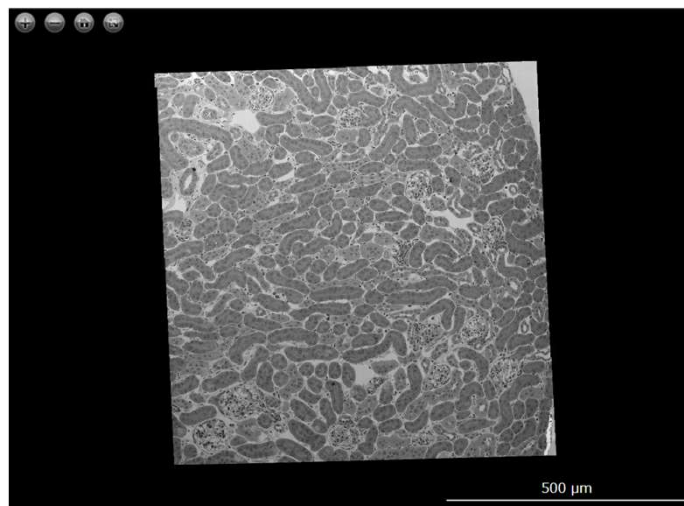


マウス腎臓の超広域透過電子顕微鏡像

関連製品 : SiN Window Chip, JEM-1400

SiN Window Chipの上に載せたマウス腎臓の超薄切片試料を、自動モニターシステム「Limitless Panorama (LLP)」機能を使用して撮影しました。フラットでグリッドバーの無いSiN Window Chipの上に載せた切片は、皺が無い状態で全域を観察することができます。この広域視野を高精細に記録するために、LLPを用いてピクセルサイズが約 5.6 nm/pixel の倍率で自動モニター撮影 (96 × 90枚) を行いました。こうして得られた画像は、約 200億ピクセルの画素を持ち、糸球体の基底膜構造を観察できる解像度を維持しつつ、腎臓皮質領域全体 (糸球体の分布や尿細管のネットワーク) を観察することができます。

下記画像は、LLPにより撮影された広域画像を、Webブラウザで閲覧できるように加工したものです。画像をクリックすると、広域画像閲覧用の新しいタブが開きます。



Sample : Mouse kidney
Imaging Device : JEM-1400 / Matataki Flash Camera (2,048 x 2,048 pixels)
Image acquisition area : H 800 μm x W 760 μm with 8,640 (H 96 x W 90) images
Pixel size of the image : 5.6 nm / pixel
Total number of the pixels : 20 Gigapixel
Acceleration Voltage : 80 kV

Data provided by

RIKEN Center for Integrative Medical Sciences

Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University

Dr. Oguchi

Copyright © 2020 JEOL Ltd.

このカタログに掲載した商品は、外国為替及び外国貿易法の安全輸出管理の規制品に該当する場合がありますので、輸出するとき、または日本国外に持ち出すときは当社までお問い合わせ下さい。

